

竹による事業戦略

宮津カトリック教会

竹による広報戦略



竹による景観戦略

竹による交通戦略

International Workshop **Bamboo Art** in Kyoto & Miyazu 2014

FUBENEKI BAMBOO DESIGN CHALLENGE

竹のデザインチャレンジ参加者募集

テーマ：丹後の人達と考える「不便益な竹の特産品」デザイン
(竹活用による丹後及び京都地域にしかできない観光資源・特産品の企画・デザインワークショップ)

場所：ホテルアンテルーム京都 (1F アンテルームミールズ)

<http://hotel-anteroom.com/> (地図参照)

日時：12月20日(土) 13:00~18:00

定員約 30名

宮津・竹の学校事業は、京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金の補助を受けています。



京都府地域力再生活動

従来、建築・造園・工芸等に広く利用されて来た竹材。近年は代替品の進出、竹製品の輸入増加や産地縮小により、国内の生産量は減少し、竹林の荒廃は地域社会の問題となっています。「宮津・竹の学校」は、宮津地域ひいては京都府全域の竹の文化・竹の芸術の再生をテーマに、竹のアート・デザイン・ワークショップなど多様な活動を展開しています。

今回、丹後からキーマンとなる人材を京都に招き、他都市の企業関係者、デザイン、竹材関係者、大学生らの皆さんとともに、竹による特産品や観光資源開発のデザインワークショップを行いたいと思います。ミニセミナーには京都大学デザイン学ユニットの不便益研究で名高い、川上浩司教授をお呼びし、不便益な視点での竹のデザインも試みます。

講師：川上浩司（京都大学大学院デザイン学ユニット）、小林大祐（特定非営利活動法人 Design with All 理事長）

事務局兼デザイナー：曾和治好（京都造形芸術大学・教授） 石川新一（東南西北デザイン代表・環境デザイナー）、玉井恵里子（株式会社タビエ代表取締役・インテリアデザイナー）他



当日のワークショップの主な流れ（スケジュール）

※時間・一部内容については変更の可能性があります。

集合（顔合わせ）
13:00～13:15

- ・あいさつ
- ・進行説明5～6人5グループ分け

知る（理解）
13:15～13:45

- ・主旨説明
- ・昨年、竹の学校の取組み紹介

聞く（セミナー）
13:45～14:30

- ・不便益レクチャー（川上浩司先生講演）
- ・質疑応答



不便益での成果「素数のものさし」

休憩
14:30～14:45

- ・ブレイク

話す（提案抽出）
14:45～15:30

- ・アイデアを抽出する
- ・方向性を議論して絞りこむ

創る（検証）
15:30～16:45

- ・簡単なスケッチやモックアップ
- ・つくることで共有・合意形成

魅せる（発表評価）
16:45～17:30

- ・各グループの提案を発表
- ・各案の評価・感想

講評
17:30～18:00

- ・講評・あとかたづけ

主催：NPO 法人地球デザインスクール 宮津・竹の学校実行委員会
<http://ibart2013.jimdo.com/>

事務局：宮津・竹の学校実行委員会
担当 石川・曾和

問い合わせ先：tel/fax 075-201-8220 or 0772-28-9018
mail ibart2013miyazu@gmail.com

申込締切：12月10日（水）

参加費：無料 交通費は各自ご負担下さい。

